

ころばん体操出前講座活動報告(平成29年1月14～19日)

【講話】

- 1.「いつまでも自宅で暮らすために」地域包括支援センター保健師 久保小百合
- 2.「がんばりすぎない介護を応援します」
在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター 南新敦子

参加者の声

平成29年1月14日(土)八房公民館(参加者16名)

- ・日本人の死亡率は?「100%!」と即答。
- ・「ピンピンコロリが一番いいよねえ。」「お嫁さんは気兼ねをするから娘に見て欲しい。」
- ・「介護のこととか考えるときはあります。実際どうなるかわからんもんね～」等々。

(マイライフノートを熱心に見ておられたり、このノートにちゃんと書いておこう等周囲と話されていました。講座終了後介護をしているお母さんの通院方法についての相談を受けました。)

平成29年1月17日(火)駅前公民館(参加者14名)

- ・「どんな風に亡くなりたいかみんながよく話はしていますよ。元気でポッキリがいいね～。」
- ・「出来れば家で最期を迎えたい。みんな昔は家で看取っていたもんね。」
- ・「訪問診療をしてくれる病院がどこなのか教えてほしい。」
- ・「自宅で介護サービスを使ったら費用は入院と同じくらい掛かるのでは?家だと病院より具合が悪くなったり、早く亡くなってしまうのでは。」等々・みなさん心配事が尽きません。

(講座終了後も、介護をされるご家族の負担のことや、今後の施設について等、様々な貴重なご意見を聞かせていただく機会となりました。)

平成29年1月19日(木)旭町公民館(参加者20名)

- ・声をそろえて「ポッキリがいいよね～。」
- ・「介護と言ってもまだ実感が湧かない。でも考えなきゃいけないんだよね。」
- ・「やっぱり、家で看るのは難しいかも・弟を今看ているけど介護費用とかが心配です。」等々。

(介護の申請やサービスを使いたいときどうしたらいいか等の質問が出ました。生活の中で不安に思っていること等をいろいろ聞かせていただきました。マイライフノートを身近な人にもと複数持ち帰られ、必要性が解っていただき嬉しく思いました。)

